夕刊　磐城新聞
七月八日發行
定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金（普通欄金六拾錢　特別欄金九拾錢　五號十二字詰一行一回）（場所指定一行壹錢增）
編輯印刷發行人　柏木□　福島縣石城郡平町　□町十六番地
發行所　磐城新聞合資會社
登錄電略（タイライワキ）　電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

アリ　下

遠山都

日暮れが灰色の暮をかけ西の空には赤インキをまき散らし、東の空ではお月様がぼんやりとあくびをしてゐる頃、蟻はぐた〳〵に疲れて家へ歸つて來ました。家では大變な騷ぎでした。

わつしよい
わつしよい
そら引け、わつしよい
今日は大漁
天までとゞく
わつしよい
わつしよい
そらおせ、わつしよい

仲間の蟻達が大勢で倉の方へ御馳走を運んで行くのでした。小供の蟻達は大喜びで手をたゝきながらそのまわりを踊つてゐました。御馳走は蠅とみみずの尻尾とでした

『みんな今日僕が一番初めに見つけた御馳走ばつかりだ、ひとりではとても引つぱれないが、見つけたてがらは僕のものだ。ひとつみんなに言ひふらしてやらう!』

と考へて、蟻は得意になつてそのことを呼びまわりました。けれども誰もそんなことを聽くものはありませんでした。

わつしよい
わつしよい
そら引け、わつしよい
蠅の御馳走
毛虫の御馳走
みみずのしつぽも
おいしい御馳走
わつしよい
わつしよい
そらおせ、わつしよい

仲間はみんな嬉しくて嬉しくて一生懸命疲れるのも知らずに御馳走を運んで行きました。

蟻はつまらなそうにそれをぼんやりと眺めてゐるばかりでした――

『あんな御馳走なんかおいしいとは思はなかつたけどはやく仲間に知らせてやれば、てがらは本當に僕のものになつたんだ。そうすれば今日は一番先頭にたつ大將になれたんだ――』

などと考へながら。

（完）

西瓜畠（童謠詩）

采原北斗

西瓜畠の
もろこしは
あをあを空に
とゞくよだ

とんぼがすいと
飛んで來て
西瓜はひるね
ごろごろり

西瓜の番人
かんかん帽
ぶつぶつ西瓜を
見て廻る。

磐新歌壇

小山田滋選

『うつせ身』　助川　十九

○風邪ひきて籠るひとひの日の長さみあぐる窓に晝の月あり
○惡ある身にしくるしきざはしを上りつくして息づきにけり
○わがふたたび病むとしきかば老らくの父の嘆きはひとしほなるべし
○け長くも病みつつあれば誓ひにし友の便りもと絶えがちなる

（評）　もう一歩心を深めること

逸名　氏

○雨けぶる汽車の窓よりつと見たるうすむらさきの桐の花かな

潮聲句會（第五十七回集）

行々子

舟宿は芦にかくれて行々子　花里
葭雀芦をたわめて囀きにけり　秀勝
遠近に葭切の鳴く渡舟哉　欽一
對岸に移りて鳴くや行々子　眞砂
行々子芦の穂ひらく一と處　常
行々子湖明りして降り晴るし
一どしきりよし切鳴いて夕靜か　文狂

十六夜

靜澄作

くつきりと明るい
石段を
かけ下りた
十六夜のお月さま
○
ボートがしづかに
漕がれてゆく
水の上で
誰かが、うたつてゐる
○
道も、草も
水も、みんな
まつ白だ
ゆつくりと歩かうよ。

社會の今日

7月9日　△淺草寺再建（明應八）△塙保己一卒す（文政四）△米支合辦の航究會社設立調印（昭和二）△太平洋無着横斷飛行のロビンス機ソロモンに不時着陸（同六）△『勞働クラブ』改め『日本勞働組合會議』右翼、中間團体で結成さる△ローザンヌ會議終り條約正文に調印（同七）

○

生は短き夏にして人は花なり、彼は死す、あゝ何ぞ彼の死する速かなる　ジョンソン

遠慮してゐると氷がまた動き　雨吉

拈華微笑

◇不景氣などとは誰が磐城炭鑛
◇有卦に入山、調子の好聞
◇なにがし作の小唄ぢやないが・黒ダイア時代再建瀰々倍々確實
◇心頭を滅却せざれば氷も亦熱し
◇凡人のかなしさ
◇騰る水銀柱に海の魅惑、あす今夏最初の日曜
○……○

晴耕雨讀

ささきあきら

（15）

勿來

勿來の寫眞も出て居る。自動車もない以前のこと、よく描き出されて居る。それから車中で北海道へ通向したことであらう。

昔　病院長關寬齋先生

維新の際、戊辰の戰爭に平の落城後に官軍では性源寺を大病院にあてられた。關病院の太鼓が時間に鳴ると、當時の病院長が關寬齋先生で、先きに立ち夫れから藥箱を兩手にささげて門人に齊藤龍安氏、山内圭三氏、草野萬吉諸氏が院長のあとに續いて病院に出勤の場面であつた。其の後齊藤龍安は古銀治町に、山内圭三は五丁目に、草野萬吉は白銀町に夫々開業して相當流行つた。何れも圭角があり一見識があつた。草野先生の外科で、其の次ぎの林太郎氏まで外科では有名であつた。ある時北海道の關寬翁が齊藤龍安を訪問した所が齊藤氏は近村へ往診に出掛けた後であつた。折角の御訪問に就いては人をして迎へにやりませうから、暫くお待ちを願ひますと云つた處。個人の訪問に對して、まげて職務上の往診に迎ひにやるには及びませんと立去つたのが關寬翁で齊藤先生歸宅して此話を聞き面會出來ないのを殘念に思つたといふことを古老氏に聞いた。

講談　劍火無情

（61）　津屋義人作　菅野祐作畫

偏狹な猜忌（一）

水藩の网老たる田丸稻之右衛門は、同藩の同志藤田小四郎と共に筑波山に栖籠つて、勤王の旗幟を飜へした。けれども之に參加する者は多く水戸の臣のみであつた爲め隊員の數に於て大を成すに至らなかつた

之を憂ひて秋岡丹三郎、田岡大助の二士は田丸に說いた

『來たる者は藩の東西を問はず、勤王の主旨さへ一致せば清濁併せ吞むの概を以て大膽に憂國の志士を弘く容れられ度い。去る者は逐はず、來たる者は何者でも迎へられよ』と進言した

稻之右衛門は素より我娘松子を他藩の丹三郎の妻とする事をがへんじた位であるから異議はなかつた。唯純粹の水戸藩出身者達は頻りに異議を唱へた

『吾々が勤王の大義を唱へるは御先代の遺志を繼ぎ奉り、藤田東湖先生の敎へを守り、水戸の名聲を揚ぐる爲めなのだ。それに何ぞや田丸殿には他藩の者を引入れ、佐賀の秋岡丹三郎を江戸に遣はしたが、土佐の田岡大助などいふ僧形に怪しい人物に秘密の役目を命ぜられる。吾々が勤士の大義によつて、世に認められたりとも、他藩の者の力を借りて斯業に成功したと申されたら何とする、宜しく秋岡、田岡の兩人を放逐する策を採れ』

『如何にも左樣だ、殊に田丸殿には彼の秋岡を娘松子殿の婿とされてゐられる。未だ披露こそないが正に花婿扱ひにされてゐる。爲に秋岡丹三郎は吾々に對しても大きな顏を致す。今に於て排斥せざれば後日增長をして何事を仕出來すやも計られぬ』

斯う言つて秋岡を憎む者の中には、又一面藩中第一の美人を奪はれた嫉妬心が因になつてゐるのもあつた

中には過激な連中が

『構はん、唯排斥などゝいふ、手緩い事では駄目だ!驅し討ちに叩つ斬つて了はう』

『フム其事々々、秋岡、田岡をバッサリ片付けて了へッ』

此說は次第に有力となつて來た。當時の混沌たる世の中は、暗殺を尋常茶飯事としてゝ誰も怪しむ者はなかつた

『まだあるぞ、序に押片付けねばならぬ人物が!』

『オ、梅津要之助か、花柳者上りらしい婦人を携へ結城から參つたと申して居る

『彼も坊主の田岡大助めが連れて參つたのだ、加之も彼は江戸の旗本だといふではないか、其身德川の恩顧を蒙りながら勤王方に裏切るといふは不思議、事に依つたら梅津めは佐幕黨の間者ではあるまいか』

『オ、面倒だ、序に其奴も叩つ斬つて了はつしやい』

『然らば彼等三人を誅戮する者を人選しやうではないか』

『秋岡、田岡は可成りの腕利き手剛いかも知れんが、梅津は病み上り何の手間職は要らぬ、では其天誅組を何人か取極めやうではないか』

同じ勤王黨でありながら偏俠な彼等頑固黨は更に黨中黨を作り、石崎彌藤次、海老七五郎、神田佐之助、大前禮三郎、有田治郎の五名が其天誅組實行者に人選された

『秋岡丹三郎は軈て江戸より歸らう、其歸りを待つて一擧に梅津要之助、田岡大助と共に斃して吳れん』

『三人を斃したら、最早他藩の者を田丸殿も引入れはなさるまい』

此頑固黨が秘密結社を組織した時、又しても田岡大助が結城の玉五郎、龍ヶ崎岩太郎の二人を筑波山に連れて來た

五人はそれと知ると又も大に憤激した

『市井無賴の徒までも狩り集めねばならぬとは何たる事』

『愈々田岡のなす處は赦されぬ、速に斬つて了へッ』

意氣衝天の勢ひで五人は暗殺決行を急いだ。それとも知らず秋岡丹三郎は久し振り筑波山に戻つて來た

流行パラソルの特價品陳列
ジョーゼット　フラット　二重張……三圓八十錢
ツルヤ　電一〇四

貸間
間數五間（六疊八疊）
眺望よく高臺大平洋を一目日中にても入浴の便あり希望の方は至急來談の願ひます。
四倉新町太夫坂　元山の湯　野木タケ

美味で評判の　イワキサロン　平町電三五二

夏の傑作流行歌
サーカスの唄
僕の青春
濡つばめ
島の娘
淺草の歌
其他五月新譜澤山着荷致しました。
（御注文次第早速御届致し舛）
金光堂時計店　五丁目　電話一九五番

電話新設
六九七番
內郷村小島　薄硝子壜製造所　薄源次郎

電話開通　三四二番
五丁目　開花亭パン店

吉田眼科病院

●あらゆるお好みの……柄合とお値頃……豐富に取揃へました●
パラソルは中野洋品店
●おつとめ品……パナマ朝子九十八錢●
●平　電二五三番●

新舞子初音分店
並通晝食一人前　金三十五錢より
宴會の節は特に御相談に應じます。
申込の節は　田町　初音　電話二三六番

大塚の夏期……特賣
謝恩の爲七月十五日迄で全商品一圓以上一割引
◎自製靴　舶來防水白靴　五、〇〇
◎運動具　各種　全般
○運動服裝類……絶好の御買ひ時……!
平町田町　大塚　製靴部　運動具部　電話七七番

專門　一般內科
內科ハ何デモ診療致シマスガ呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

星製藥株式會社　福島宮城茨城各縣
債權者チエーン大會
今回は强制和議の再決議ニ本社大更生の重要大會でありまして星社長ニ星製藥强制和議期成同盟より頭山滿、內田良平、杉山茂丸三先生の代表ニして八幡博堂氏が出席致しますから萬障御繰合せ御出席の程を紙上を以て御願申上げます。
場所　平町マルトモホール
日時　七月十日午前十時開會午後四時閉會
東京　星製藥株式會社　任務斷行期成團

銘木　ベニヤ板　天井板　建具材　內外木材
建築材料ノ御用命ハ是非當店へ。
屋根材の大王（日の出太陽印）便利瓦
耐久力優ニ二十ヶ年以上
壹坪　葺上八十錢內外
日本建築紙工株式會社　磐城代理店
㊎織田材木商店　平町字紺屋町四〇　電話四六〇番

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾　皮膚病　市原三三男
平町田町本通　市原醫院　（入院隨意）　電話一一四番

難波醫院
內科　小兒科　醫學博士　難波睦
平町新川端櫻堤　電五〇二
（…入院隨時…）
看護婦募集

お聞きになりましたか
雨の大川端　池上利夫
若き日の夢　淺草〆香
（一四二四番）
ポリドール會社が忘られぬ花發賣以來の傑作ご自信を以て勸めする流行歌です。
皆々樣の御試聽を御待ち申し居ります。
會田時計店　平四　電話三六四

農家の苦痛に反して 空梅雨に惠まるゝ炭界
發電燃料關係で需要增大す

最近の石炭消費狀況は軍需工業その他の方面の需要が依然旺盛でために夏期不需要期に入つても例年の如き貯炭の增加を見ず之れが好景氣の煽りを食つた常磐炭界の發送は昨年の今頃に較べて增加。また增加。過般來頓に快ニュースの連續を見せてゐる處へ農家を苦しませた本年の空梅雨は期せずして火力發電の燃料たる粉炭の需要を激增したので彌が上にも石炭の不足を深刻ならしめつつあるので聯合會では九月一日より百萬噸の第二次送炭緩和を實施することになつてゐるが、現狀を以てしては八月末までの需給が圓滑に行くかどうかさへ疑問視され之に伴ふ影響は當然常磐にも波及するものと觀られてゐる

町債整理の爲 簡保から大量借入
次年から浮きる九百圓

町村債の整理に關し政府は今般簡易保險局から低利の借替をなさしむる事となり十五日迄に申請する樣官報を以て告示されたので平町では目下該當町債を調査中であるが五十四萬八千圓の町債中政府以外よりの借入れは

千代田生命年六分五厘九五、〇三〇圓五七錢 勸銀年七分一八、八三七圓三四錢

合計十一萬三千八百六十七圓九十二錢に對し簡易保險は年五分八厘の爲め前者は其の利差七厘金額六百六十五圓二十一錢、後者は一分二厘金額二百二十六圓五錢合計八百九十一圓二十六錢の利益が生ずるが中途返濟は違約金一分を支拂はねばならぬので之の違約金千百三十一圓六十八錢となり來年度は差引利益とはならぬが次年度からは相當な財源となるので町當局では非常に喜んで居る

地方でも利下げ
けふ意見を纏む

日銀の預金利下斷行に依り石城銀行組合では今八日午後二時から農工銀行樓上に協議會を開き各行代表出席の上大体中央の例に倣ひ定期五厘下げの四分三厘日歩各一厘下げの當座五厘、特別當座七厘、通知九厘に利下げする事に意見が纏まつた

郡下小學兒童競技

勿來、好間、四倉、高坂、草野、平第三、小名濱、湯本、上遠野、平第一、第二の粒より選手を網羅し縣体育協會石城支部主催の郡下小學兒童競技大會は愈々來る九月上旬磐中グラウンドに於て開催されるので各訓導指導の下に練習開始、近く詮衡決定するが種目は左の如くである

五十米、百米、二百米、四百米、八百米、三段跳、走巾、走高、ボールスロー

吉田禮次郎さん
◇追憶斷片

赤井嶽男 K

(承前) 終りに今回の戸數割が公平の徹底を期したものと認むる事は出來ないのであるが、一朝一夕の改善は到底望み得無い事であつて幾分でも當局が余らの意志を參酌する以上は、徐々に公平に向つて進み得るものと信じて疑はない故に、當局の苦衷の存する處を良く了解して徴税事務の運行に齟齬を來さしめざるやう一日も早く納税の責を町民諸君が自覺するなれば、單り余の喜びとする許りで無く將來大平町の建設に資する事絶大なるものがあるであらう——

斯く語つて口を噤んだ

○

吉田さんが下層階級の負擔輕減に就て刀折れ矢盡くる迄の孤軍奮鬪は、その抱藏する理想を遺憾無く實現する事が出來なかつたにせよ其間少からず失當の賦課を緩和したので有形に負擔の輕減を結果されなかつた或る方面迄加はつて吉田さんに對する一部町民の感謝は翕然として吉田さんに集り町議中の最高峯として炬の眼光と燃犀なる識見とは一入町民の信頼を深からしむるものがあつた

○

明けて大正十二年の五月其の年前期分の戸數割調査も前年と同一で何ら覺醒味が現れて居無いと云ふので町民間に左右の非難が傳へられた、實際の處其の一例を見ても

立派な資産階級のものの所得八九二、四二〇に對し二一七、四六〇の見立割を附してる一方全く其の經濟狀態に同情すべき無產級者の所得一四一、五八五に對し見立割は五五四、四〇六と云つた具合に何人の目にも其の不權衡が歴かに看取さるるのなどが少くなかつた

當時之の實際問題を提げて某紙の如きは

——之を公平な見地から看て以てブロ階級には差額の四一三、〇〇〇を輕減し之をブルに轉嫁せしむるも尚ほ餘裕綽々たるものがある。この睹易き道理を沒却するのは全く暴虐だと云へるので有力な青年團幹部は之を合理的に解決するために活動する事になつたから近く表面化するであらう——なんて煽情記事を書いた程であつたが、當局でも其んなこんなの空氣を看て取つた結果かその時は別段の事も無かつた、疑ふ迄も無く前年後期分當時に於ける吉田さんの健鬪が事茲に至らしめたものである

○

憶ひ出の糸車カラ〳〵と繰られて吉田さんに對する追憶思慕は後から後から盡きさうも無い、他日之を詳述する機會もあらう、茲に眷戀の涙と偕に一瓣の香を獻じ之の稿の筆を擱く。

十一校爭覇
あすの敎員野球

縣体育協會石城支部主催の濱三郡敎員野球大會は既報の如く明九日の日曜をトし第一、平商、第三校の三球場で開催されるが申込は左記十一校で新參加磐中、平商の戰績が期待されて居る

內郷尋高、勿來、平第二、泉、神谷草野混成、湯本、磐中、平商、好間、上遠野、第一

第一。。。。一勝二敗。。。。平第一校職員チームは昨八日午後二時から廣野、木戸、龍田、久の濱の四校混成チームを迎へて同校庭に對戰一對六で惜敗續いて第二校が對し二對一で辛勝した

木炭組合代議員會 招集難
先立つ費用欠乏

存廢を決する濱三郡木炭同業組合の評議員會は十七日午前十時から平町團体事務所で開き既報の如く大体存續に決する模樣で今月下旬代議員會を開く筈であるが組合は昨年中木炭品評會を開催し利益金を全部費消した爲め經費五百圓近くを要する代議員會を開けず書面を以て賛成調印を取纏めるがその數二千三百人に達する爲め決定する迄には半年以上を要するであらうと

町の更生策に アグリ漁業開始
久の濱で出動準備

久の濱町では同濱最近の衰微を挽回するには土地柄水產業の發展に俟つが近道であると云ふ見地から町當局と漁業組合が相謀り此程アグリ漁業を開始する事に決定目下準備中で遲くも今秋九月までには出漁出來る見込であると

力強い結束に 經濟更生は芽ぐむ
入遠野に美談二つ

今年度の自力更生村に指定された入遠野村では委員を擧げて着々計劃遂行に入りつつあるが此の中に生れた美談二つ

(委員の一人である素封家折笠六郎氏は最近二男榮一君(二三)を東白河郡竹貫村の某家へ婿養子に出したが斷然舊慣を破つて婿入りの晴衣に代ゆるに野良着一揃ひを以てしモンペ姿で晴れの式場へ送り出したが之の引出物がまたトラック一台に杉苗一萬本。翌日は新婦揃つて之を裏山に植付けさせ今後二十年間の物見遊山を封じ當人同志も深く誓ひ合つた

○之れ亦委員の平子惣太郎氏は此程實父に死別したがお通夜の酒肴は勿論香奠返しも廢して五十圓を節約し之を小學校のオルガン購入資金に寄附した

尙同村では今八日田村郡の篤農家で農林省經濟更生委員の宗像利吉氏を招聘し村內各施設の視察を乞ひ終つて午後一時から小學校で批判講演會を開いた外隣村上遠野村でも明九日午前十時から同樣視察講演會を開く筈である

給水を哀訴
困惑の大浦方部

郡內の旱魃地たる玉川村を始め各方面で水不足に惱んで居るが大浦村方面の小川江筋灌漑民は既に植付けた水稻が枯死する虞れあるので代表者十數名は今八日午後平町江筋組合事務所を訪問善後策を歎願した

旅館組合總會。。。。 四倉署管內旅館組合總會は明九日午前九時より同署內に開催、終つて海氣館に於て懇親會を開くと

盛會を期待される 星製藥債權者大會
來十日星社長來平

阿片事件以來幾多の困難と戰つて來た東京星製藥會社は、曩に債權者から破產申立を受けたので强制和議を提起し昨年末和議成立の運びに至れるも又もや紛爭を續けて來たが去る五月二十六日大審院で會社申立の如く勝訴と確定來十八日東京區裁判所で强制和議再決議の債權者集會を開く事となつたので社長星一氏及頭山滿、杉山茂丸、內田良平三氏を顧問とする同社强制和議期成同盟の代表が全國樞要地二十七ヶ所で債權者大會を開く事となり當地では明十日午前十時からマルトモホールで開催され出席約五百餘名で盛會を豫想されて居る

受難の少年奉公人
鄕里の山形縣へ歸さる

內郷村小島新町米穀商消防小頭遠藤末藏(四三)が雇人山形縣東置賜郡金井村金井生れ五十嵐博行(一三)を虐待した事件は平署で嚴重取調の上遠藤を少年保護法違反並に不法監禁として一件書類を送檢し博行を親許へ歸宅させた

元平驛跡整理
愈々急カーブ撤去

舊平驛跡敷地二百八十二坪は平町へ拂下げられる事に決し其の一部分は急カーブを取除く道路敷となるので昨七日午後一時から議事堂に警備委員會を開き火見櫓移轉は二百二十六圓で前澤文太郎氏に、喞筒小屋新設火見櫓移換は四百二十圓で平消防組へ請負はせ夜警小屋は紺屋町火防組へ無償拂下げる事に決した

各校夏休み

磐中、平商、磐女の三校は來る廿一日より、三小學校は八月一日から各々樂しい夏休みに入るが平商では全生徒に對し英語數學、國語の宿題を課する外四、五年に對しては炭鑛海濱の鄕土產業を調査せしめ、鄕土敎育の參考資料にすると

カル自殺を決意し 公園で遺書作製
失業者危機一髮を救はる

當時住所不定岩瀨郡須賀川前諏訪町理髮職人長澤虎一(三〇)は去月下旬から平町に職を求め步いたが見當らぬのを悲觀し一昨六日夜自殺する決心でカルモチンを懷ろに松ケ岡公園のベンチで遺書を書いて居る處を平署員が發見說諭の上今八日迎へに來た叔父長治に引渡した

平局員精神修養講演會 十三日午後六時からマルトモホールに開催するが講師は精神學研究の權威澁本豐之助氏であると

老强盜に八年
けふ平支部の求刑

去月二十二日好間村の植木屋を襲つた內郷村大字宮字町田三號無職島新松(六九)に係る住居侵入、强盜傷人事件の公判は今八日午前十時半から平支部に於て中島裁判長係り、關口、竹內兩判事陪席、三堀檢事關與、官選山野邊辯護人列席の下に開廷、檢事から老齡を斟酌懲役八年を求刑されたが言渡しは來る十二日午前九時

劍劇に憧れて家出
十五の兄と九歲の弟

平驛で汽車待ち中保護を受く。。。。。。

今曉平驛待合室に事情あり氣な二人の少年あるを平署員が發見事情を聞くと右は東白川郡宮本村論田農三郎長男小平幸作(一五)次男丁作(九)の兄弟で劍劇映畫俳優に憧れ昨七日連れ立つて家出し東京蒲田驛迄の切符を買ひ乘り繼ぎの準急を待ち合せ中なる事判明懇々說諭の上親許へ引渡した

泳ぎの注意
第三で印刷物配付

愈々河童の季節となりボツ〳〵水の危險が多くなつたので第三校では水泳に關する注意事項を印刷に附し全校生徒に配付し尙は受持訓導から夫々注意事項を口授した

贈賄側四被告服罪
一名丈け控訴申立つ

小名濱築港疑獄事件に關し去る三十日平支部で罰金八十圓の判決を受けた湯本町長岡義守氏は控訴期間最終日である昨七日控訴を申立て、他相被告の久保田眞、馬目雄次郎、高木武士、鈴木省三の四氏は服罪した

柴田氏寄贈 平四丁目丸友書店主柴田德二氏は愛娘靜さんの死亡に際し昨七日母校磐女校々友會書籍購入費として金二十五圓を寄贈した

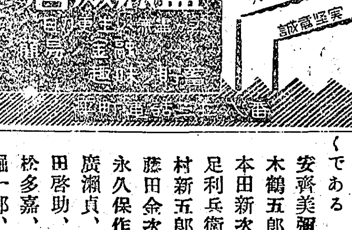
早大生實習
理工科の四名滯在

早大理工學部採鑛科學生河合幸平、中山幸二、日寄親勇、樋口和美諸氏一行四名は夏季休暇を利用し昨七日來郡同日入山、今八日磐炭を視察し當分實習のため滯在すると

敎員裁縫講習。。。。 本縣女子師範主催第十一回女敎員裁縫講習會は八月一日から六日間女子師範校に開催するので平各校でも目下希望者を募集中

血液檢査で疲勞を測る

平機關庫の機關手疲勞調査は目下東鐵より專門技師が出張血液を檢鏡に附し調査を進めてゐる



三等局長會議

郡下三等郵便局長會議は今八日午前九時から平局樓上に開催各局長三十名他仙台保險局成田書記出席簡易保險契約維持に關する諸般の協議をなした

平商蝕齒患者。。。。 此程執行した平商身体檢査の結果齲齒保有者は

一年九九 二年九七 三年七五 四年六五 五年三〇

計三百六十六名で全校四百二名に對し殆ど全部が侵されて居たと

內郷村兒童敎育後援會

內郷村兒童敎育後援會總集會は九日午後五時から第二校に於て開催會費徵收の件、屋外活動寫眞實行の件について協議するが同會は現在會員百十九名を有し各區每に二十四名の幹事を置き貧困兒童救濟スポーツ獎勵に貢獻してゐる、因に各區の幹事左の如くである

安齋美彌、木田美文、鈴木鶴五郎、大河原龜四郎、本田新次、飯塚惣平、百足利兵衛、小林健高、大村新五郎、野村隆次郎、藤田金次、柿沼新五郎、永久保作次、鈴木三郎、廣瀨貞、小泉宗一郎、沼田啓助、鳥海己三郎、小松多嘉、仲緖三郎、驛長堀一郎、石川正理、高原瀧太郎、大越勝之助

メートル卽行反對

愈々明年七月一日からメートル法の强制施行に伴ふ尺貫法廢止に關し今や全國的に反對運動が起つて居るが平町でも今後急激な改正に伴ふ不便を顧慮し此れに共鳴し全國運動に加盟して大々的反對運動を起すべく有志間に相當根强い反對空氣が釀成され成行を刮目されて居る

海產動物研究。。。。 平第三校五、六年生三十名は前田訓導引率の下に明九日午前八時十九分發、海產動物研究の爲四倉、新舞子へ赴くと

竊盜。。 當時住所不定無職茨城縣生れ前科四犯關根之助(四四)が去月二十五日午後十一時頃勿來町大字窪田國部由三郎方物置小屋より自轉車一臺、白米六升の外前後四回に亘り自轉車專門の竊盜を働いた事件の公判は今八日午前九時から平區に於て竹內判事係り、小林檢事關與開廷、求刑通り懲役一年六ヶ月を言渡された

新 七月九日 日曜
舊 五月十七日 丙子 先負 執 虛宿

易判定處 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 家業は繁昌すれども爭論口舌を避くべき日▲二黑の人 あゆ妄歸は身を過つ恐れ眞面目なれば立身す▲三碧の人 手段の惡きに非れども功果現はれざる凶日▲四綠の人 期せずして他の反感を招く事あり短慮嚴戒▲五黄の人 利を以て誘はるゝも動かず本分を盡さば吉▲六白の人 元氣沈み自由行動の採れぬ日外事け殊に凶▲七赤の人 諸事展開を來たす吉日起業投資金談凡て吉▲八白の人 萬事急がず自然の發達を待つべし願望成る▲九紫の人 險惡の氣態りて諸事意の如くならず害多し

通勤看護婦見習生募集

一、採用人員 五名
一、資格 女學校卒業程度
一、講義 毎日一……二時間
一、給與 若干ノ手當ヲ給ス

御希望ノ方ハ履歷書本人御持參ノコト

磐城共濟病院

近日中開業
耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院